

第14回汚職防止刑事司法支援研修 「汚職防止のための効果的な刑事司法の運営」

1. 日程及び参加者

- 平成23年10月13日（木）～11月10日（木）
- 海外参加者10か国16名
- 国内参加者6名

2. 研修概要

汚職は、社会の安定と安全に深刻な脅威をもたらし、持続的発展と経済成長を妨げる。それは今や、国家の枠を超えて対応すべき重大な問題である。

本研修の目的は、汚職対策について、参加各国における刑事司法上の問題点の改善・強化策を検討することにより、参加各国における犯罪の防止及び刑事司法の充実・発展に寄与するとともに、参加者の相互理解を促進し、各国の実務改善のための継続的な情報交換に向けたネットワークを構築することにあった。

主要な具体的検討項目は以下のとおりである。

- (1) 各国における汚職と関連犯罪の現状並びにその捜査、公判及び犯罪収益の没収に適用される法制度
- (2) 汚職犯罪の捜査、公判並びに犯罪収益の没収の現状、課題及び対策
 - ア 犯人処罰に主眼を置いた方策・制度に関する現状及び課題
 - イ 犯罪収益の没収と財産の回復に主眼を置いた方策・制度に関する現状及び課題
- (3) 刑事司法機関及びその人員の能力強化に関する現状、課題及び対策

3. 客員専門家等

本研修の一環として、アジ研教官による講義のほか、以下の客員専門家・外部講師による講義を行った（敬称略）。

【客員専門家】

- ディミトリ・ブラシス 国連薬物・犯罪事務所（UNODC）
条約局 汚職・経済犯罪部長
「国連腐敗防止条約実施上の重要点」
「UNODC、締約国会合及びワーキンググループとその役割」
- コウ・テック・ヒン シンガポールCPIB（汚職行為捜査局）運営部長
「反汚職戦略－シンガポールの経験」
「汚職犯罪の捜査と起訴」
- トニー・クオック・マンワイ 反汚職コンサルタント
元香港ICAC（独立反汚職委員会）副委員長
「成功した反汚職戦略－香港の経験」
「汚職対策における成功事例と失敗事例－比較と提言」

【外部講師】

- 千田 恵介 東京大学大学院法学政治学研究科教授

「汚職事件の捜査における国際協力」

- 小嶋 英夫 公正取引委員会事務総局審査局特別審査調整官
「汚職対策と公正取引委員会の役割」
- 久保 裕司 警察庁刑事局組織犯罪対策部犯罪収益移転防止管理官付課長補佐
「日本におけるマネーロンダリング対策－JAFICの役割」
- 池田 暁子 法務省刑事局国際課局付検事
「国際商取引における外国公務員に対する贈賄の防止に関する条約の概要と実務上の問題点」

その他

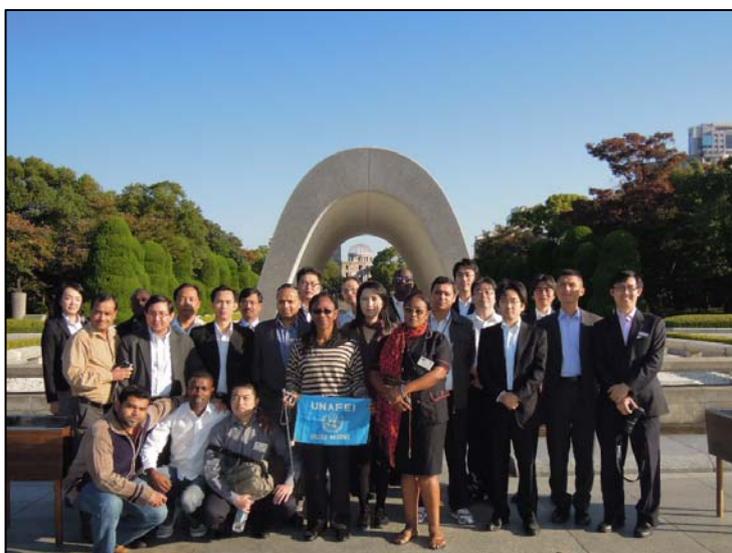
以上



研修参加者入所



国際会議場



研修旅行(広島)



第14回汚職防止刑事司法支援研修集合写真